

ハーモニーみどりESCO 事業提案審査の講評

脱炭素社会の実現に向けた取り組みとして、市民利用施設であるハーモニーみどりにおいて、ZEBを視野に入れた提案を募りました。

今回、1グループから提案があり、事前に公表している「ESCO事業提案審査要領」に従い、提案内容を審査するとともに、公正かつ客観的に評価いたしました。

その結果、前提条件が満たされておらず、事業者の決定に至らないという結果となりました。

今回の募集においては昨今の資材の高騰や部品調達が困難になっている影響を受け、事業者にとって事業成立を確保した提案を出すことが難しくなってしまったと感じられました。

また、そのような社会情勢の中で1グループより提案いただきましたが、誠に残念ながら募集要項の条件を満たすことができませんでした。

このような審査結果になりましたが、今回の募集を通じて得た知見により、一層良い事業が行えるよう分析・検討を行い、今後も地球環境への配慮と横浜市の財政負担軽減に努めてまいります。

最後に、お忙しい中、貴重なご提案をいただいた提案者に対し、審査委員を代表して心よりお礼申し上げます。

令和5年11月17日

横浜市ESCO事業提案審査委員会

委員長 沖 裕壮